

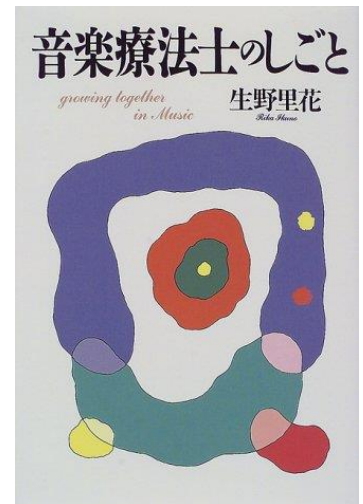
四国支部大会 教育講演：生野里花 先生 ご案内

第11回四国支部大会（徳島）が平成28年（2016年）1月11日にあわぎんホールで開催されます。その中で、教育講演を担当される生野里花（いくの りか）先生について御連絡します。



★ 教育講演-2「人 とともにある音楽～音楽療法ができること～」
東海大学非常勤講師
野花ひととおんがく研究舎
生野里花（いくの りか）先生

生野先生は、アメリカで音楽療法と音楽教育の領域で研鑽を積んだ後、日本の現場や大学で長年にわたって臨床・教育活動をされてきました。その経験に立って、近年はお茶の水女子大学で「音楽による共生」をテーマに博士論文に取りくんでいます。音楽療法領域は、自然科学的・数量的な研究と人文科学的・質的な研究のふたつを駆使していかなければ発展はのぞめないという立場のもと、後者の研究を専門としています。大学や各地の研究会で講義・ワークショップを行うほか、臨床実践「音楽室えのころん」、音楽療法士自助グループ「野花の座」、音楽療法文献購読グループ「ソフィア野花」からなる「野花ひととおんがく研究舎」<http://pirika.com/Nobana/>を主宰し、研究と実践の輪をひろげています。



1) 音楽療法士のしごと 生野里花（春秋社）

著者がどのようにして音楽療法に出会い、それを仕事とするようになったかが率直に描かれていて、読みやすく、また若い冒険心にあふれた本です。出版から20年以上を経ても、音楽療法に興味を持ったとき最初に読んで影響を受けた、また経験をつんだ後ものが初心をふりかえる意味で折々に読んでいるという声が多く聞かれる本です。

2) DVDブック 歌の翼に—緩和ケアの音楽療法— デボラ・サーモン著 生野里花訳（春秋社）

カナダの音楽療法士による終末期の患者さんへの音楽療法のドキュメンタリーDVD と、その解説本のセットです。本に掲載されている論文は、少し専門的かもしれませんが、DVD はだれがみても圧倒的に説得力のある素晴らしいもので、ぜひご覧になることをおすすめします。生野先生は DVD 音声の訳とともに、各症例場面の解説文を書き起こしています。

3) 静かな森の大きな木：（春秋社） 生野里花・二俣 泉（編著）

日本には海外からたくさんの音楽療法用活動曲が入ってきた一方、日常の現場からも日々名曲が生まれています。さまざまな療法士たちによって目の前の対象者に語りかけるようにして作られた療法活動曲が、丁寧な解説とともに使いやすくまとめられおり、音楽療法現場のほか、保育や教育の現場でも好評のロングセラーの楽譜集です。

